

バッドボーイズ清人さん(吉本芸人) 話術の芸人

2018年10月6日 「京楽よしもとばちんこツアー」に所員2名が参加した。「ばちんこツアー」は、パチンコメーカーの京楽と吉本興業が合同で立ち上げた「KYOURAKU 吉本ホールディングス株式会社」のイベントの一つだ。この企画は、年20回程度開催されており(詳しくは『言論の研究と教育』vol.1を参照)、この企画に参加したことで吉本芸人の何人かと知り合いになり、調査協力を得られるようになった。

清人さんは、協力者の一人だ。清人さんは、何度か本ツアーに参加しているのだが、この方の面白いところは、普段パチンコを打たないのにツアーに参加していることだ。本ツアー参加者は、芸人も含めてパチンコヘビーユーザーばかりが参加する。その中では、希有な存在と言える。周りがパチンコにはまる中で、なぜパチンコに入り込まないのか。非常に興味深い。清人さんは「みんなステージ以外の時間が多くあるために、最初は時間つぶしでパチンコに入って、いつしかのめり込んでいるんですね」と言う。

清人さんは「間を取る」芸人としても珍しい。清人さんの芸を間近で見てもばか笑いするほどではないが、なぜかおもしろい。話のペースが非常にうまく、間(ポーズ)の取り方がうまいのだ。早口でしゃべる芸人が多い中、清人さんの存在は珍しい。漫才の価値は、ネタの面白さだけでない。早野所長は、古今亭志ん朝の話術を分析されていたので、清人さんの話術を聞いてみたが、「志ん朝とは比べない方がいいが、間の取り方はプロを感じさせる」とのこと。

なお10月21日、清人さんプロデュースのUTAGEが西荻地域区民センター・ホールにて開催される。お時間のあるかたは、ぜひ、清人さんの話術を楽しんで頂きたい。

2018/10/6(記事石川)

